

1. 前回・前々回の振り返り

第 5 回協議会 (11/6)

(意見交換テーマ)

- 2024年度前期報告及び2024年度後期計画



(主な意見)

- 地域に対して何かやりたいと思っている人たちへの伴走支援と自立を促すことが、公共イベントを営む成果だと感じた。
- 1階に居心地のよい商店街のような機能があるので、駅前のオフィス需要を受けて、オフィス利用のニーズが増してきている。
- 具体的なプロジェクトに関わる人が増えることで市民の行動変容につながると良い。
- 民間側がもっと積極的に提案をすることで、公民連携が上手く進むのではないか。
- 行政がこれまでの運営を総括したほうが良い。

第 6 回協議会 (5/30)

(意見交換テーマ)

- 2024年度報告及び2025年度計画



(主な意見)

- 市民がイベント自体を待ち望む気持ちを持てるような工夫が必要。
- 平日の売り上げを伸ばすのなら、周辺住民が来やすい施設になることが重要。
- 他にはないここの価値を地域の人にもっと理解してもらい、地域の課題を施設が持っている機能で解決する取り組みをしても良い。
- 事業効果を測る指標に、イベントの件数だけでなく、福山の未来につながる取組の具体例を挙げるのはどうか。
- 他フロアを活用する際には、1階の賃貸借期間を延長してほしい。



行政が持つ繋がりや信用を活かした運営支援に取り組みながら、2階の活用を見据えた賃貸借期間終了後の1階の活用方針の検討を進める。

2. モニタリングの考え方について

モニタリングの2つの視点

```
graph TD; A[モニタリングの2つの視点] --> B[目的を達成できているか]; A --> C[収益が確保されているか];
```

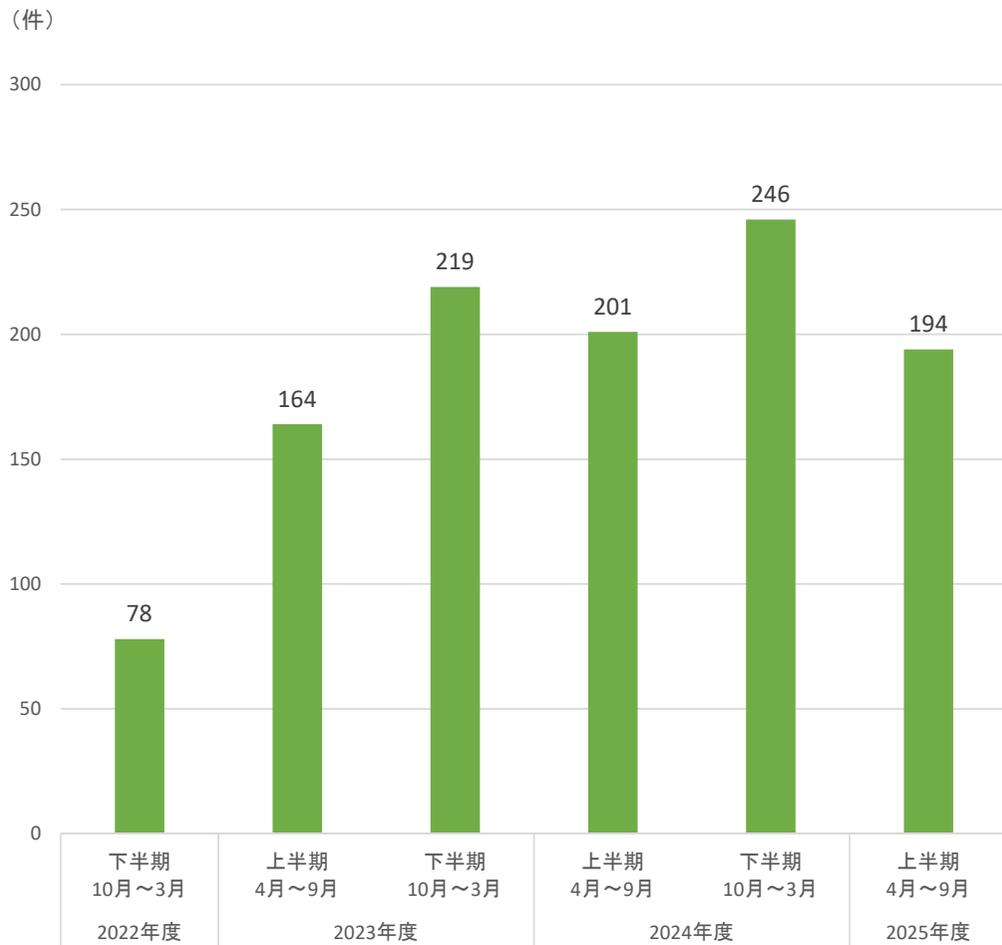
目的を達成できているか

- イベントの開催件数・集客数
(総数、リピート開催数)
- コワーキングスペースの利用者数
(U-23、一般)
- イベント等がない平日の施設利用者数
(月1回：午前・午後)
- 福山の未来につながる取組の具体例
- iti SETOUCHIで影響を受けた人のエピソード

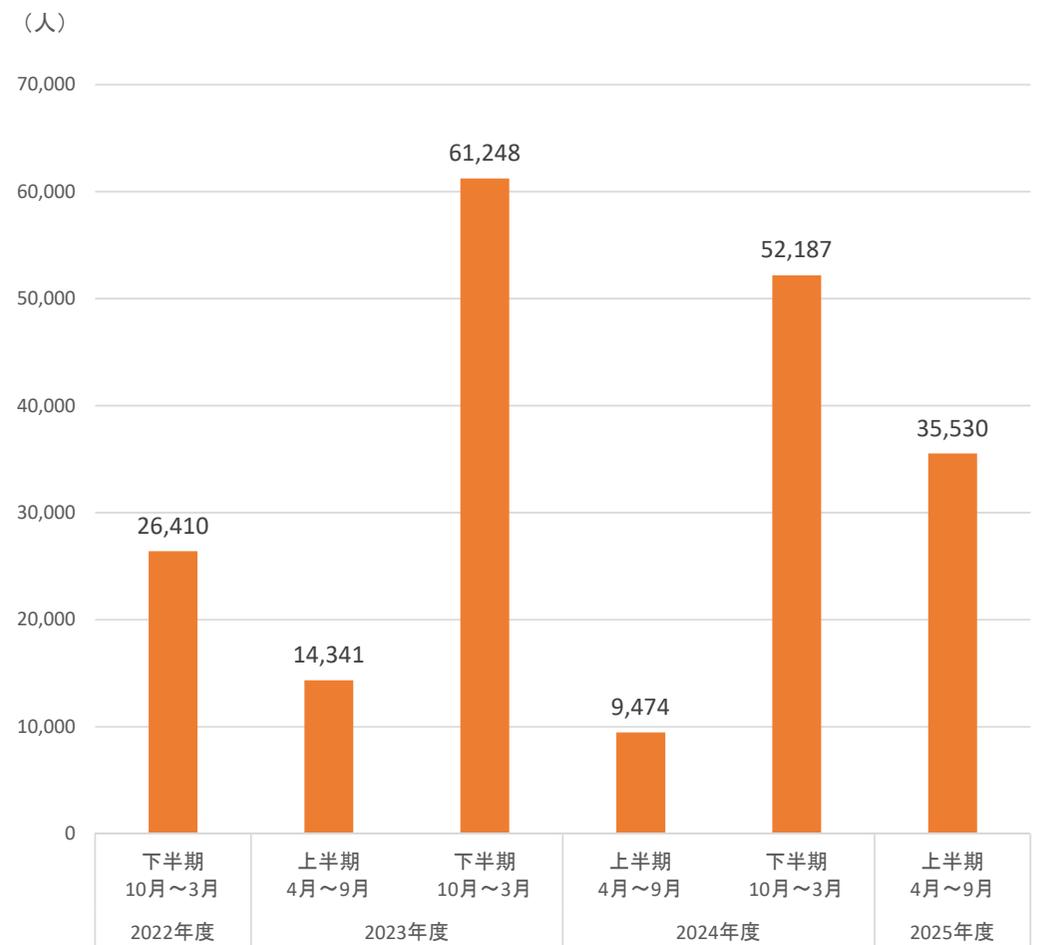
収益が確保されているか

- 単年キャッシュフローの黒字化
- レンタルスペース利用者数
- イベント開催数
(貸会場としての利用)
- 駐車場利用台数
(時間貸、定期パス)

イベント開催数

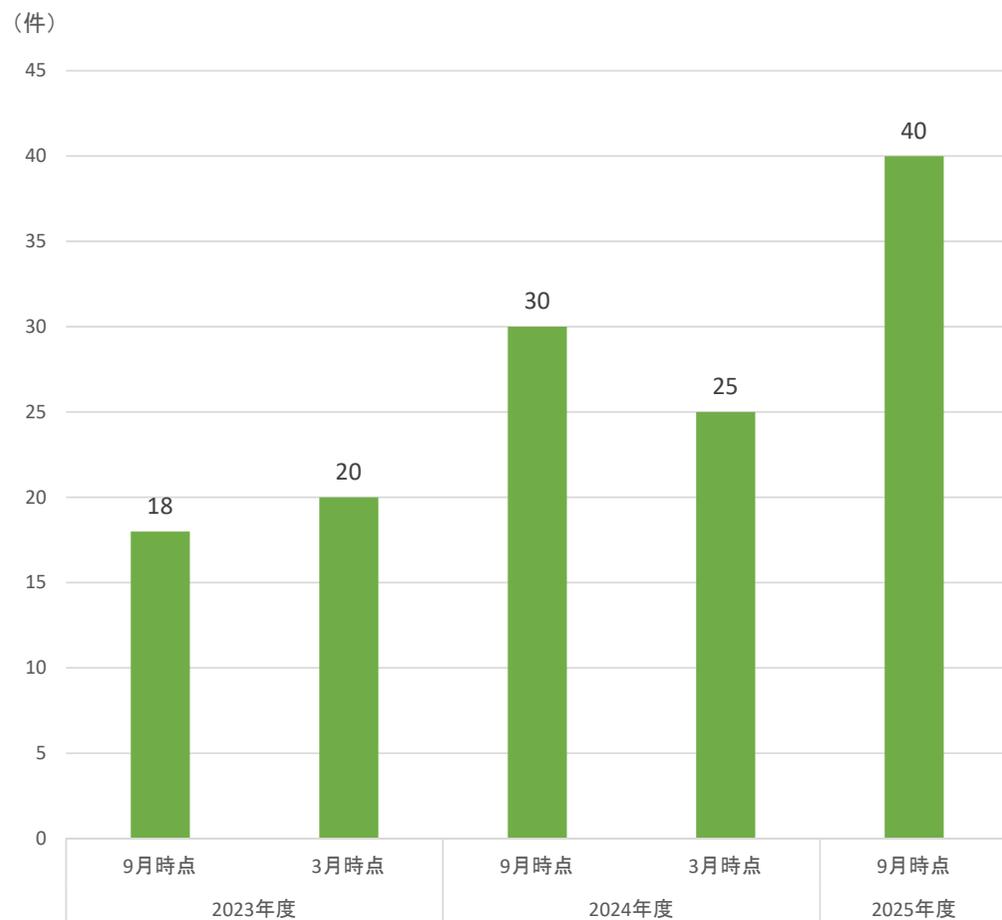


イベント集客数

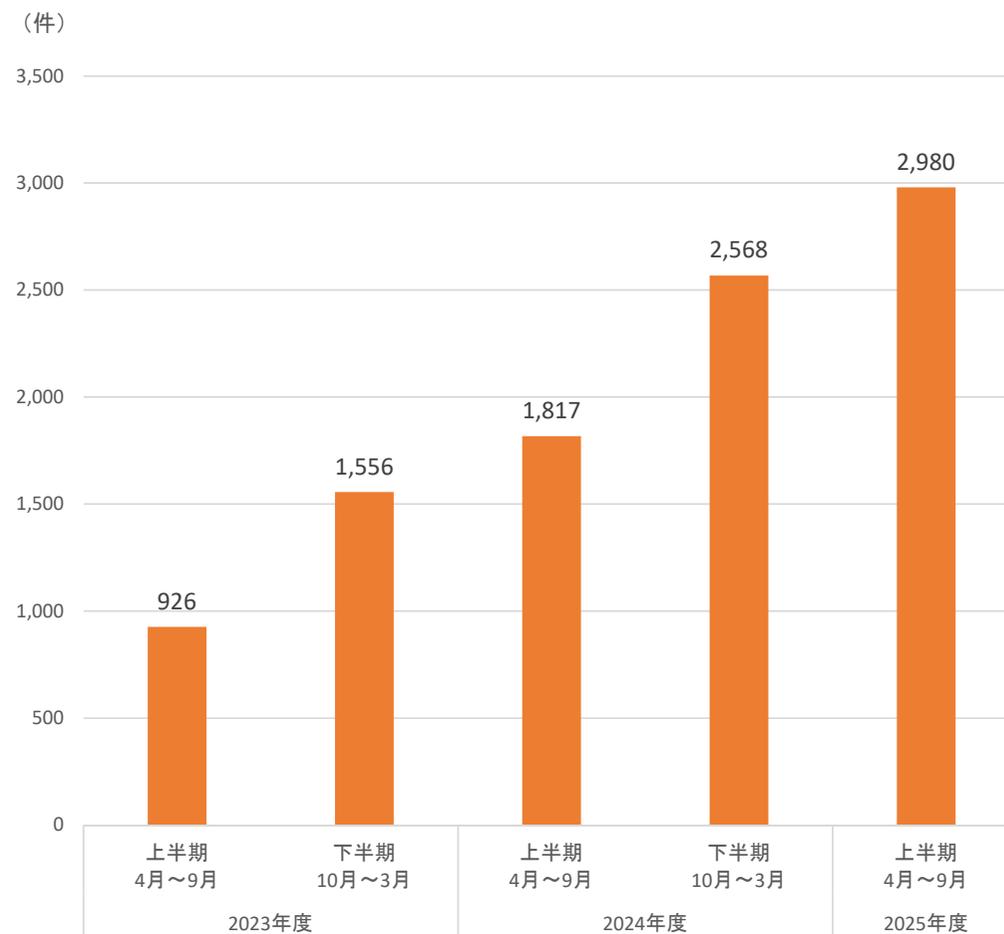


※little wonder department (リトワン) 等の大規模な集客イベントが下半期に固まっている。

コワーキング月額会員契約者数



コワーキングドロップイン利用者数



レンタルスペース利用者数

